

# Chapel Times

守谷聖書教会チャペルタイムス No. 39 (2015年夏号)

## 惜しみなき愛

### どうして人は

どうして人は、自分のプライドを傷つけられると、こ  
うも怒りを抑えられないのでしょうか。

どうして人は、競い合い、勝ち続けようとするのでし  
ょう。

どうして人は、自分の意見に固執し、どうでもよいこ  
とに意地をはるのでしょうか。

正当な理由を色々挙げるかもしれませんが、でも、その  
根は、自分を認めてもらいたい。もっと言うならば愛さ  
れたい。その一言に尽きるのではないのでしょうか。

### どうぞ

親となり、自分の心の内に生ずる感情に自分  
でも驚かされることがあります。

先日、美味しいケーキを家族で四等分し食  
べました。食べ始めると、子どもが先に食  
べ終え、私のお皿に残っているものを少し欲  
しそうに見ていました。

私は、分けてあげました。惜しいと全く思いません  
でした。こんな心が自分の内にもあるのかと、自分に驚き  
ました。妻と食べる時は、いつも大きい方を何の迷いも  
なく取る私なのですが…。

皆さんもそんな経験があたりなのではないでしょうか。  
子どもが良い点数を取ってきたから、運動ができたから  
ではない。子どもの喜ぶ顔を見たいからというのではな  
い。理由を聞かれても説明がつかない。強いて言えば、  
子どもが自分の子どもであるからということでしょうか。

### 神が私たちを愛し

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、  
私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子（イ  
エス・キリスト）を遣わされました。ここに愛があるの

です。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛し  
てくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべき  
です。（Iヨハネ4：10～11）」

神は、この世界を創造し、人をお造りになりました。  
しかし、人は、その造り主なる神に背き、神から離れ、  
心が罪に支配されています。神に感謝することなく、自  
己中心に生き、人を妬み、人を憎しみ、歩んでいます。

神は、そうした私たちを腸がちぎれるほど悲しみ、慈  
しまれ、何とか罪から救い出そうと、独り子イエス・キ  
リストを惜しみなくお送り下さいました。そして、私た  
ちの罪の身代わりにイエス・キリストを十字架で裁か

れ、私たちの罪を赦し、神に立ち返る道を開  
かれたのです。

私たちが神を愛したから神に愛される  
のではなく、神がまず私たちを一方向的に愛し  
ておられるのです。神に造られた神の目にか  
けがえのない尊い存在だからです。

### あなたを待っている

子どもは、親に深く愛され、自由に、安心して、生き  
生きと成長します。神は、弱く、もろいあるがままの私  
たちを愛し、愛しいと思われておられます。

神の全き愛の中に生きる時、私たちは、自らの存在の  
尊さを知り、自らの弱さを受け入れ、心が広く自由にな  
り、人を赦し受け入れ、人に仕える歩みへと変えられて  
いくことができるのです。

「あなたは、どこにいるのか。（創世記3：9）」神は、  
私たちがご自身に帰ってくることを、今、切に待ってお  
られます。神の呼びかけに応じ、神の愛の中に生きまし  
よう。

守谷聖書教会 牧師 鈴木洋宣



“あなたの町のあなたの教会”

守谷聖書教会です！

〒302-0110

守谷市百合ヶ丘 2-4804-2

電話 0297-45-2507

<http://moriyabiblechurch.jimdo.com/>

「わたしはあなたの名を  
呼んだ。（聖書）」

